

2024年10月27日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第31号(通算3413号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

小さくされている人を
大切に^{たいせつ}する^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に^{たいせつ}する神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

こうたんぜん だい しゅじつれいはい
降誕前 第9主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん
招きの詞 詩編 8編 4-5節

さんび か ばん
賛美歌 21-225番「すべてのものらよ」(©著作権消滅)

いの
お祈り

せい しょ ふくいんしよ
聖書 マタイによる福音書 10章 28-31節

さんび か ばん
賛美歌 21-425番「こすずめも、くじらも」(©JASRAC)

メッセージ「髪の毛の数まで知る」 水谷 憲 牧師

さんび か ばん しゅ
賛美歌 21-530番「主よ、こころみ」(©讚美歌編集委員会)

しゅ いの ばん てん
主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

たんじょうしゃしゅくふくしき
誕生者祝福式 水谷 憲 牧師

ささげもの
献げ物(*)

は けん ばん かみ めぐ う
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく
祝福 水谷 憲 牧師

こう そう ばん
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほう こ ばん
報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 8編 4-5節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

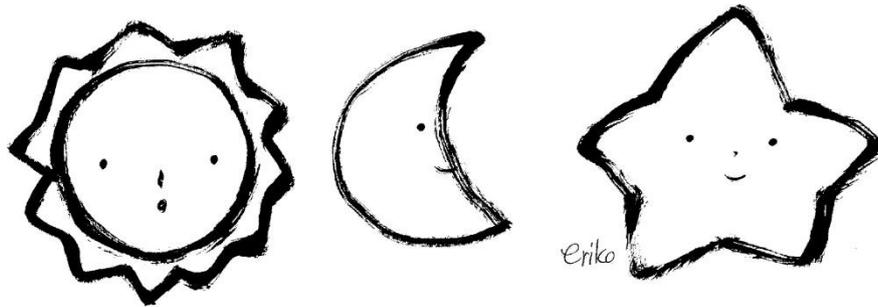
4 あなたの指の^{わざ}業である天を
あなたが据^すえた月と星^{あお}を仰ぎ見て、思う。

5 人とは何者なのか、あなたが心に留^{とど}めるとは。
人の子とは何者なのか、あなたが顧^{かえり}みるとは。

聖書 マタイによる福音書 10章 28-31節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

28 「体は殺しても、命は殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、命も体も^a ゲヘナで滅ぼすことのできる方を恐れなさい。29 二羽の雀^{すずめ}は一アサリオンで売られているのではないか。だが、その一羽さえ、あなたがたの父のお許しがなければ、地に落ちることはない。30 あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている。31 だから、恐れることはない。あなたがたは、たくさんの雀よりも優れた者である。」

(脚注 a : 別訳「地獄」)



《先週のメッセージより》2024年10月20日 収穫感謝礼拝

「命によりそう」より

牛田匡牧師

聖書 エレミヤ書 29章 1, 4-14節

今回のお話は、紀元前6世紀頃に、南ユダ王国が大国バビロニアに侵攻され、何千人もの人たちが、捕虜として連れて行かれた状況の中で、預言者エレミヤが遠く異国の地バビロンに連行された同胞たちに対して書き送った手紙でした。先の見通せない絶望しかないような状況の中では、自暴自棄になったり、「もう生きている意味がない」「早く楽になりたい」と言って、自ら命を絶ったりすることは、昔も今も、どこでも十分にあり得ることでした。しかし、エレミヤは絶望してしまうのではなく、あくまでも将来の回復を信じ、堅実な生活をするようにと、同胞たちを励ましました。もしも苦難が短期間なのであれば、いつでも祖国に帰ることができるように、大掛かりに家を建てたり、田畑を耕したり、果樹を植えて果樹園を作ったりするのは、無駄なことでした。しかし、エレミヤは苦難は長く、70年に亘る、と預言しました。70年というと、2世代、3世代でしょうか。捕囚民として当初、連れて来られた第1世代の人たちは祖国に戻ることは出来ないかもしれない。けれども、その後の子孫たちは、必ず帰ることが出来る。「あなたがたのために立てた計画は、あなたがたに将来と希望を与える平和の計画であって、災いの計画ではない」(11)。このエレミヤの手紙、預言の言葉によって、捕囚の民たちはどれだけ慰められ、励まされたのでしょうか。

先が見通せず、絶望しかないように思えない時、それでも自暴自棄になってしまうのではなく、命を投げ出し、棄権してしまうのではなく、今置かれている場所で、今置かれている場所に平和を求めて、平和を創り出していくこと。田畑を作って毎日の糧を生産していくこと、家族や仲間たちと共に生活を造り上げていくこと。それらは即ち諦めてしまうのではなく、飽くまでも目の前にある一つ一つの命に、大切に寄り添っていくことに他ならないのだと思います。今日は収穫感謝礼拝です。私たちは食べることに無しには生きていくことは出来ません。そして、大地や海から生み出される食べ物は、元を辿れば自分たちが造り出したものではなく、人間の力を越えた「自然の恵み」に他なりません。豊かな秋の実りという、命の源である神様の恵みを実感する季節にあって、神様が備えて下さっている平和の計画に信頼して、私たちはここから、自分の命も、他人の命も、一つ一つの命に寄り添い、命を大切にする歩みへと導かれて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 10月20日 収穫感謝礼拝

礼拝出席 大人5名 子ども3名 献金 大人5,000円 中継視聴者数13回 感謝礼拝後に、釜ヶ崎支援のために、178個のおにぎりを作り、いこい食堂にお届けして、約90人の方々にお渡しすることができました。また「収穫感謝礼拝」で献げられました収穫物も、併せていこい食堂の炊き出しのために献品致しました。どうもありがとうございました。

◎次週 2024年11月3日(日) 召天者記念礼拝(降誕前 第8主日礼拝)

招きの詞 詩編 51編 3-4節

聖書 マタイによる福音書 23章 25-33節

メッセージ 「なげかわしくてごめん」水谷憲牧師

賛美歌 21-382番(©JASRAC)、21-539番(©P.D.)、21-385番(©JASRAC)

「召天者記念礼拝」ですので、ご家族やご友人など先に天に召された方々のお写真をお持ちになって、ご参加ください。また11月は「愛児祝福月間」ですので、子どもが出席された場合、礼拝の中で「愛児祝福式」を行います。

礼拝後、13時半より奈良県王寺町にある王寺墓地にて墓前礼拝が行われます。また15時からは柏原市にある特別養護老人ホーム「第二好意の庭」内にて「召天者記念礼拝」が行われます。

◎お知らせ

・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載します。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。

・次週11月3日(日)11時~14時にかけて、同じ河内地区にある枚岡教会(東大阪市)にてバザーが行われます。バザーの収益は能登半島地震被災地の人道支援と教会支援のために、すべて送金されるそうです。

出店予定は、掘り出し物、雑貨、布製品、ケーキ、うどん、コーヒー、衣料、古本、おでん、わたがし、ゲームなどです。どなたでもご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
11/3	水谷憲牧師	(愛児祝福月間)召天者記念礼拝、ユーカリスト 13時半~14時 王寺墓地墓前礼拝(牛田牧師) 15時~第二好意の庭・永眠者記念礼拝(牛田牧師)
11/10	水谷憲牧師	(愛児祝福月間)(障がい者週間) 教会を考える会 15時~ 大阪教区王寺墓地 墓前礼拝(池田牧師・八尾教会)
11/17	牛田匡牧師	(愛児祝福月間) 15時~ 大阪教区服部墓地 墓前礼拝(宮岡牧師・北千里教会)
11/24	牛田匡牧師	(愛児祝福月間) 誕生祝福式・おにぎり支援